



西村環境相



高村会長

GXなど重点課題の実現へ 中環審第30回総会で高村会長を再選

中央環境審議会(会長 高村ゆかり東京大学末来ビジョン研究センター教授)は2月14日、東京回総会を開き、任期満了に伴う会長互選で高村会長を再選した。当面の重点課題として気候変動、循環経済、生物多様性などを確認するとともに、GX(グリーン・トランスフォーメーション)実現へ意欲を新たにした。

総会では西村明宏環境相が冒頭あいさつに立ち「脱炭素と産業競争力を両立するGXの基本方針が閣議決定された。炭素



審議・答申状況を確認

を値付けし、排出者の行動を促す成長志向型カーボンプライシング構想などに全力で取り組んでいく」と述べ、一層の協力を求めた。続いて柳本頭政務官が「皆さまの議論を踏まえ、資源循環や水環境の保全を推進する」決意を表明した。また再任された高村会長は「ロシアのウクライナ侵攻で食料やエネルギーが高騰している。エネルギー需給率を高め、資源循環を促す環境政策が

を値付けし、排出者の行動を促す成長志向型カーボンプライシング構想などに全力で取り組んでいく」と述べ、一層の協力を求めた。続いて柳本頭政務官が「皆さまの議論を踏まえ、資源循環や水環境の保全を推進する」決意を表明した。また再任された高村会長は「ロシアのウクライナ侵攻で食料やエネルギーが高騰している。エネルギー需給率を高め、資源循環を促す環境政策が

の継承を図っていくには管工事業界のイメージアップと適正利潤の確保が不可欠だ。このため全管連は水道行政の大部分が国交省に移管される際に人員や予算が引き継ぎ確保されるよう要望。また大規模地震や風水害などの災害時にも問題なく活躍できるよう平常時から適正利潤・適正工期に配慮した工事が発注されるよう強く求めた。

水道行政移管で要望



自民党本部で左から井林辰徳議連事務局長代理、田村会長、藤川会長、盛山正仁議連幹事長、務台俊介議連事務局長

予算・体制確保・業界振興へ

当日は全管連をはじめ一公益社団法人日本水道協会、青木秀幸理事長、全国簡易水道協議会の北村政夫副会長、一般社団法人日本水道工業団体連合会の宮崎正信専務理事らが出席。全管連は藤川会長に粕谷明博専務理事、上田忠幸事務局長、鈴木都久生課長らが行った。また関係府省から倉長雄厚生労働省水道課長、松原誠国土交通省下水道部長、大井道博環境

省水環境課長、伊藤光弘内閣府政策統括官(防災担当)付参事官(復旧・復興担当)らが一堂に顔

を揃えた。

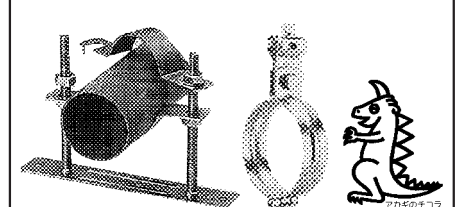
全管連に所属する約1万5千管工事業者は給排水設備工事、水道配水管工事、空調設備工事などに日々従事し、ライフラインの重要な担い手として国民の日常生活や経済社会活動を支えている。しかし新型コロナウイルス感染症による景気の下振れなど先行き不透明な状況が続くなか所属企業は依然として減少しており、災害時の応急復旧心

援体制が現状のまま維持できるか危惧されている。組合員企業が将来にわたって存続し、若年者の入職促進と技術・技能の継承を図っていくには管工事業界のイメージアップと適正利潤の確保が不可欠だ。このため全管連は水道行政の大部分が国交省に移管される際に人員や予算が引き継ぎ確保されるよう要望。また大規模地震や風水害などの災害時にも問題なく活躍できるよう平常時から適正利潤・適正工期に配慮した工事が発注されるよう強く求めた。

全管連 水道議連総会に出席

これに伴い上下水道施設などの社会インフラを支える技術者・技能者のさらなる資質の維持・向上が図れるよう各種資格のあり方について下水道分野の資格と対比しながら検討するよう求めている。

配管支持金具



配管支持金具の株式会社アカネ
本社 〒104-8251 東京都中央区新富1-19-2 ☎03-3552-7331(大代表) 営業本部 ☎03-3552-7091(代 表) 本社 東京・支店 営業所 全国主要都市

セパレート構造になって作業効率大幅アップ!

NEW セパレート式給水ユニット MC5Sデビュー!

みなさまのご要望をもとに開発&改善を重ね、テラルから施工のしやすいセパレート式直結給水ブースタポンプが新登場!

施工が
しやすい!

搬入が
しやすい!

結果 → ① 作業時間 & 断水時間が短く!

テラル株式会社
www.teral.net

本社 〒720-0003 広島県福山市御幸町森脇230
TEL:084-955-1111/FAX:084-955-5777

東京支社 〒112-0004 東京都文京区後楽2丁目3-27 テラル後楽ビル6階

詳しくは
MC5S
特設サイトへ